

結核菌 IFN γ 測定 T-SPOT.TB

報告パターン	判定：(-)、(+)、判定保留、判定不可
判定について	<p>【判定基準】</p> <p>① (パネルA抗原のウェルのスポット数) -(陰性対照ウェルのスポット数)</p> <p>② (パネルB抗原のウェルのスポット数) -(陰性対照ウェルのスポット数)</p> <p>陽性(+): ①か②のいずれか一方が 8スポット以上の場合</p> <p>陰性(-): 陽性対照が20スポット以上、①と②の双方が4スポット以下の場合</p> <p>判定保留: ①と②の高い方の値が5~7スポット(判定保留域)の場合、再検査を行うことが推奨されます。</p> <p>判定不可: 陰性対照が11スポット以上の場合</p> <p>要因: 非特異的に INF-γ が産生された可能性</p> <p>陽性対照が20スポット未満、①と②の双方が4スポット以下の場合</p> <p>要因: INF-γ 産生能が低下している可能性、ただし結核菌特異抗原に陽性結果が得られた場合は評価可能</p>
備考	<p>判定保留は再度血液を採取して再検査を行うことが推奨されます(他の診断方法を含む)。</p> <p>規定量の全血(血液)をご提出いただいても回収細胞数が少ない場合、不足と報告させていただく場合があります。</p>